

# 令和5年度学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 都立上野高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭(総務主任兼務)=事務局長、主幹教諭=総務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成  
学校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任兼務）、主任教諭（生活指導主任兼務）  
主幹教諭（進路指導主任兼務）、主任教諭（総務部主任兼務）、主幹教諭（100周年委員長兼務）  
計7名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
学識経験者（学校法人事業本部長）、近隣中学校長、地域教育機関、地域有識者3名、同窓会代表  
PTA会長 計8名

## 2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和5年6月22日（木）内部委員8名、協議委員6名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出  
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和5年11月16日（木）内部委員8名、協議委員7名  
授業公開、これまでの教育活動に関する報告  
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
  - 第3回 令和6年2月8日（木）内部委員8名、協議委員6名  
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議  
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
  - 第1回 令和5年6月22日（木）内部委員3名、協議委員2名  
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出、学校経営計画、本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第2回 令和5年11月16日（木）内部委員3名、協議委員2名  
本校の現状と課題等説明、意見交換
  - 第3回 令和6年2月8日（木）内部委員3名、協議委員1名  
本校の現状と課題等説明、学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議  
次年度に向けた方向性の確認、意見交換

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点  
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - ・12月 全校生徒 対象：928人 回収：918人 回収率：98.9%
  - ・12月 保護者全員 対象：928人 回収：842人 回収率：90.7%
  - ・12月 地域・住民 対象：18人 回収：13人 回収率：72.2%
  - ・12月 教職員 対象：58人 回収：58人 回収率：100%
- (3) 主な評価項目
  - ・※学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設
- (4) 評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）
  - ・生徒については、学校生活の満足度・特別活動・部活動の積極的な参加などについて8割前後が肯定的評価をしている。
  - ・保護者については、生徒に比べると「あまりそうは思わない」の割合が若干増える。特に基礎基本の学力の定着、応用力の向上について生徒よりも下がった。しかし、進路指導も含めて学習面では学年が進行にするにつれて改善が見られている。

(5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）

・アンケート結果の分析からの課題をあげる。

①生徒 ……授業や課題、校舎内の施設についての提言がみられた。

②保護者……学校からの情報提供や三者面談の希望、学習課題等について提言がみられた。

③地域 ……地域との連携についての提言がみられた。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

・キャリア教育と進路指導により勉強と進路に対する好循環が生まれている。

・コロナ明けによって生徒の活動が活性化し、教育目標の「自主協調・叡智健康」が実現してきている。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

・各々が学習に関して応用力が付き、実力が向上したと実感できるの評価を上げる。

・図書館の利用や読書週間の向上について課題がある。

・学校やその他、相談する場所についての案内を工夫する。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

・生徒・保護者に対して、折に触れ、学校の教育方針を説明し理解を得る。

・保護者会や授業公開等を継続して実施し、学校の状況を伝えていく。

(2) 学習指導

・成績の中下位の生徒や入試科目の国語・数学・英語などの教科指導を工夫する。

・自習室の利用やスタディサプリなどを活用し、学習時間を増やす。

(3) 特別活動

・部活動や学校の活動を、web ページで更に発信していく

・防災面も含めて、地域との連携や交流について強化していく

(4) 生活指導

・近隣への苦情などに即時に対応する。

(5) 進路指導

・充実した大学生生活を過ごすためにも、高校での在り方・生き方を考えるキャリア教育と学び方を会得する探究学習が大切である。

(6) 健康・安全

・カウンセリングが必要な生徒全員に丁寧に対応できる体制を続けていく。

・カウンセリングや相談を受けやすい環境づくりや関係機関との連携を更に進める。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
6	1					1

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 0回 延0人 企画調整会議 0回 延0人

・委員の意見を参考に、文化祭において地域との交流機会を設け、連携を深めた。

8 その他

・今年度は質問項目を変更したため経年比較ができなかったため、次年度より比較していく。

・自由意見欄の記述は参考になる意見が多かった。